

こんにちは♪ いきなり、大盛況！ リニューアルして、「ゆめかわ」になった図書館にはもう訪れてくれたでしょうか？ きっとびっくりすると思うのでぜひ。本を借りなくても、そこにいただけでわくわくして癒やされる、そんな図書館をめざしています。

先日、「**本屋大賞**」の発表がありました！ 本屋大賞というのは、全国の書店員がいちばん売りたい本を選ぶ賞で、エンターテインメント小説の賞としてはかなり信頼できる賞になっています。ちなみにこれまでの受賞作は、**小川洋子『博士の愛した数式』**、**恩田陸『夜のピクニック』**、**リリー・フランキー『東京タワー』**、**佐藤多佳子『一瞬の風になれ』**、**伊坂幸太郎『ゴールデンランバー』**、**濱かなえ『告白』**、**冲方丁『天地明察』**、**東川篤哉『謎解きはディナーのあとで』**、**三浦しをん『船を編む』**、**百田尚樹『海賊とよばれた男』**、**上橋菜穂子『鹿の王』**、**宮下奈都『羊と鋼の森』**、**恩田陸『蜜蜂と遠雷』**、**辻村深月『かがみの孤城』**、**瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』**、**凧良ゆう『流浪の月』**、**町田そのこ『52ヘルツのクジラたち』**、**逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』**！ 「うんうん」でしょうか？ さて、今回みごとに大賞に選ばれた作品は、せーやさんイチオシの**凧良ゆう『汝、星のごとく』**でした！ なんと史上初、二度目の受賞となります！ 二年連続2位だった**青山美智子さん『月のたつ林で』**の受賞ならず。

『汝、星のごとく』 凧良ゆう

王様のブランチ BOOK 大賞、紀伊國屋書店が選ぶ「キノベス！ 2023」、そして本屋大賞！ 凧良さんの本気の恋愛小説。タイトルは佐藤春夫の詩から。舞台は瀬戸内の小さな島。愛人のもとに父親が去って行ってしまった**暁美**。生まれてすぐに父親を亡くし、一時たりとも男なしでは生きられない母親に育てられた**権**。「普通ではない」親に振り回され、苦しんできた二人は高3で出会い、同じ孤独を分け合える恋人になった。二人はともに島を出ることを望んでいたが、権が在学中に雑誌連載を決めマンガ家としての将来を切り開いて東京へ行こうとする一方で、暁美は父親の愛人の家に火をつけようとするところまで追い詰められてしまった母親を見捨てることができず、島に残ることになった。東京で夢を叶えてプロのマンガ家になり、作品がヒットしてちやほやされる権。両親が離婚し、経済的な不安から高卒で地元の旧態依然の会社に就職した暁美。対等だったはずの関係に生じた不均衡。暁美は、権に女の影を見、自分に退屈していることに気づく。価値を見いだせず、侮られる程度でしかない自分が悔しい。本当に相手のことだけを愛していた二人なのに、すれ違ってしまう…。

『ぼくはいったい どこにいるんだ』 ヨシタケシンスケ

『りんごかもしれない』(2013)、『りゆうがあります』(2015)、
『もうぬげない』(2016)、『なつみはなんにでもなれる』(2017)、
『おしっこちょっぴりもれたろう』(2018)、『あつかったらぬ
げばいい』(2020)、『あんなにあんなに』(2021)と、なんと絵本
屋さん大賞を7度(!)も受賞し(去年は『かみはこんなにく
ちゃくちゃだけど』で2位)、本校でも超人気のヨシタケさんの
最新作は、絵本デビュー作の『りんご』から続いて傑作揃いの
「発想えほん」シリーズの第5弾! テーマは「地図」です。お
母さんにお使いを頼まれて渡された地図がさっぱりわからなくて
困っていると、友だちのお母さんが書き足してくれて、ぶじ
買いものができた。地図ってすごい! 宇宙からミジンコの体の
中までいろんな大きさのものの地図がある。いろんなことを地
図にしてみると、わかることがたくさんある。自分がいまどこ
にいるのか。何がいちばん大事なのか。このあとどうしたいの
か、とか。ぼくだけがわかる、ぼくだけの地図を書いてみよう。

『しかもフタが無い』 ヨシタケシンスケ

で、こちらはヨシタケさんが『りんご』で無双の絵本作家とな
る十年前、人知れず刊行されたメジャーデビュー作の文庫版!
肌身離さず持ち歩いて思いついたことがあればスケッチをする
あのファンにはおなじみの(これがなかったらヨシタケさんは
生きていけないであろう)手帳をそのまま本にしたものです。
そう、初めての就職のものすごいストレス発散のために見つから
ないように職場でちっちゃく描いていたのがルーツの。これが
とってても面白いのです! 子どものためにわかりやすくとか、
誰にも付度そんたくしないで自分のために書きなぐったものですから、
まさにヨシタケさんそのものといった感じで。すでに彼のただ
者ではないユニークさがありありと伝わってくるのです。ああ、
ヨシタケさんって、なんて面白いんだろって。たとえば、「階段
しかない世界で自転車をかかえる男」。ヨシタケさんのことです
よね! 『『疲れたから』と『眠たいから』が言い訳として通用す
る夢のような世界をいっしょに探しに行かないか?』本音です
よね? 「神様に言われたくない言葉」。「何度もチャンスをあげ
たでしょう?」個人的にいちばんのお気に入りはこちら。「あなた
の月になってあげる。夜はあなたをやさしい光で照らしてあげ
る」「ただ月に1回は休むし」「あなたに私の裏側は決して見せ
ない」。ケーキの箱が頭になっている人間には「このくらい人を
ワクワクさせる存在になりたい」という言葉が。本音なんだろ
うなあ。「おまえの家の冷蔵庫をあけっぱなしにしてやる!」w

『恋とそれとあと全部』 住野よる

「書き上げた次の日から、街中の高校生カップルたちが愛おしくてしょうがなくなっただけです」。住野よるさんの記念すべき10作目は、『キミスイ』に回帰したかのような、ただ自分がきゅんきゅんするために書かれた、ど真ん中の青春恋愛小説！ 会話や印象だけで相手とのあいだにつくりあげられた、「いま、目の前の相手が好きなんだ」という現在進行形の恋愛が書かれます。高校2年生のめえめえ（瀬戸洋平）は、同じクラスの女子・サブレ（鳩代司）に片思いをしている。体育会系で夏休みも部活がつつりだが、下宿に帰ってくると、しばらく会えないと思っていたサブレ（鳩サブレからついたあだ名）が残っていて驚く。サブレは来週から遠方のじいちゃんの家に行くという。彼女の旅の目的は、自殺をした親戚の死についてもっと知りたいという不謹慎なものだった。「じゃあ、一緒に行く？」目的地へは夜行バスと電車で。二人で過ごす、夏の特別な4日間が始まる…。

『黄色い家』 川上未映子

「このさき、自分がどこで生きることになっても、何歳になっても、どうなっても、彼女のことを忘れることはないだろう」。そう思っていた、四十歳になって惣菜屋で働いている花は、ネット記事で黄美子（きみこ）の名前を見つけ、彼女のことを何もかも忘れていたことに気づいた。二十年くらい前に、まだ若かったころの数年間を一緒に暮らした黄美子さん。黄美子さんは、二十代の女性を1年3ヶ月にわたり監禁し、暴行を加え、傷害の罪に問われていた。彼女との出会いは、十五歳の夏だった。目を覚ましたら、スナックで働き二人暮らしをしている母の代わりに、眠っていたのだ。その日から夏休みのひと月を二人で暮らした。ずっとこんなふうに過ごせたらいいと思っていたけれど、ある日突然黄美子さんはいなくなってしまう。冷蔵庫を食べものでぎゅうぎゅうにして。花は高校を卒業したらすぐ家を出ようと安い時給でバイトに明け暮れていたが、必死で貯めていたお金を母の恋人に奪われてしまう。絶望した花は黄美子さんと再会する。「わたしと一緒にくる？」花は高校を辞め、黄美子さんと一緒に「れもん」という名のスナックを開店することになる…。

『大江健三郎自選短篇』 大江健三郎

先日亡くなったノーベル文学賞作家・大江健三郎さんを読むなら、これ！ 人生が集約されているかのような、自らの選んだベスト・オブ・ベストの岩波文庫です！ 難解？ いやいや、伊坂幸太郎さんなど多くの作家に影響を与えた、粒ぞろいの面白さ。

『ここはおうち』 谷川俊太郎 ぶん junaida え

せーやさんイチオシの絵本作家 junaida さんの最新作は、なんと詩人・谷川俊太郎さんとのコラボ！「いきたいところへ いっちゃう わたし」。丸めがねでもじゃもじゃ頭の女の子が、わたしだけのおうちからおでかけします。まちを出て、どこにも、いつでも、はじめてのくに、そして宇宙へ！ 谷川さんの言葉は、この本では junaida さんの華麗な絵を見せるためだけに書かれたようです。最後には大好きなおうちに帰ってくるのです。

『^{しら}白ゆき^{べに}紅ばら』 寺地はるな

両親に一度も会ったことのない祐希は、3歳のころから当時 25 歳の志道さんと 24 歳の実奈子さんが行き場のない母子を守るために守るために設立した「のぼらのいえ」で育てられたが、高校を出たら当然のようにそこで働くことが決まっています、どこにも行けない未来に絶望して、高校卒業と同時にそこから脱走してひとりで生きていくことを選択した。ところがその十年後、一人暮らしをしていたアパートが燃えてしまい途方に暮れていると、父親代わりだった志道さんが突然現れて、「迎えに来たんだよ」と告げた。母親代わりだった実奈子さんは死んだのだという。「ひとりで生きていくって簡単なことじゃなかっただろ。自分がそれまでどれだけ庇護されて生きてきたか、よくわかったんじゃないのか？」祐希は「のぼらのいえ」に戻ることを承諾し、今度こそ^{ひろか}紘果をあそこから連れ出したいと願う。姉妹のように育てられ、いっしょに逃げようとしたけれど、結局そこに留まることを選択したあの^{ひろか}紘果を。「今度こそ、かならず」。

『君はなぜ、苦しいのか 人生を切り拓く、本当の社会学』

石井光太

日本の子どもが感じている幸福度は、先進国 38 カ国のうち 37 位なのだそうです！ そのような危機的な状況にありながら、君たちは無自覚。だって世の中とはそういうものだと思っているから。「君はなぜ、苦しいのか」。「なぜ」が解き明かされます。この本は、どのような社会問題に君たちが苦しめられているのかをはっきりさせてくれます。いま日本が置かれている現状を正確に理解することで、君の人生は生きやすいものになることでしょう。知ること、抜け出すことが可能となるのです。

☆新任式を Luna Mattino の黒いスーツ（リボン！）で決めたのに、司書はお披露目がなくてがっくり。でも生徒に The Last Rockstars（紅白にも出た YOSHIKI、HYDE、SUGIZO らのスーパーバンド！）の 5 人目のメンバーみたいと言われて復活♪ では。

